

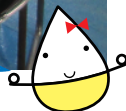
TOPICS 1

“芦田川 川の健康診断”を春、秋に開催

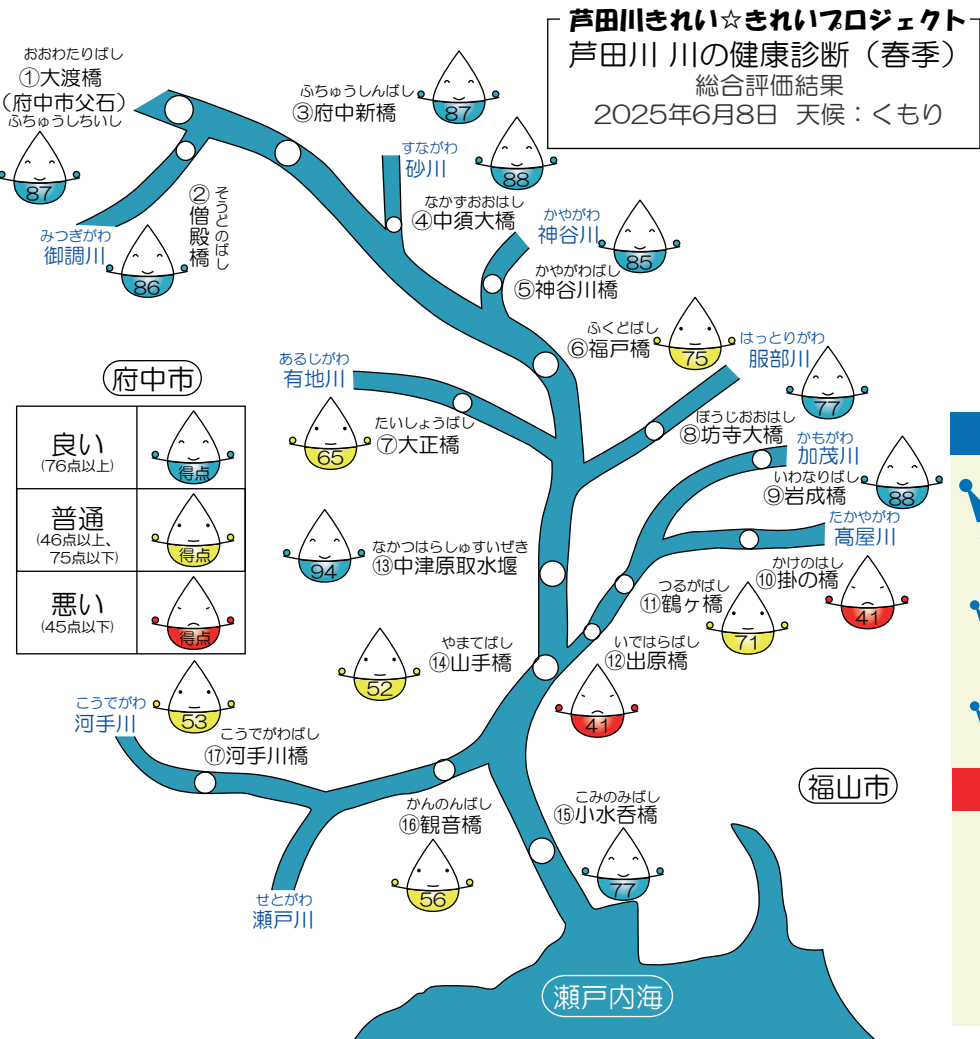
芦田川とその支川の17地点を対象に、川の水質、見ためなどを評価する“芦田川 川の健康診断”の春季調査を2025年6月8日(日)に、秋季調査を2025年11月12日(水)に開催しました。(参加者:春季一般・秋季スタッフのみ)
 調査は、地点毎に、水質チェック(COD、亜硝酸、りんのパックテストによる簡易水質測定)、感覚チェック(見た目や色、匂い、手触りなどによる評価)を行いました。
 また、調査後は、“芦田川見る視る館”にて、透視度の計測などを行うとともに、各地点の調査結果を集計しました。



今年も同じ地点を調査しました★



2025年度 芦田川『川の健康診断 春季調査』総合評価結果



上位ランキング	
1位	⑬中津原取水堰 (芦田川) : 94点
2位	④中須大橋 (砂川) : 88点 ⑨岩成橋 (加茂川) : 88点
3位	①府中大渡橋 (芦田川) : 87点 ③府中新橋 (芦田川) : 87点
下位ランキング	
1位	⑩掛の橋 (高屋川) : 41点 ⑫出原橋 (高屋川) : 41点
2位	⑭山手橋 (芦田川) : 52点
3位	⑰河手川橋 (河手川) : 53点

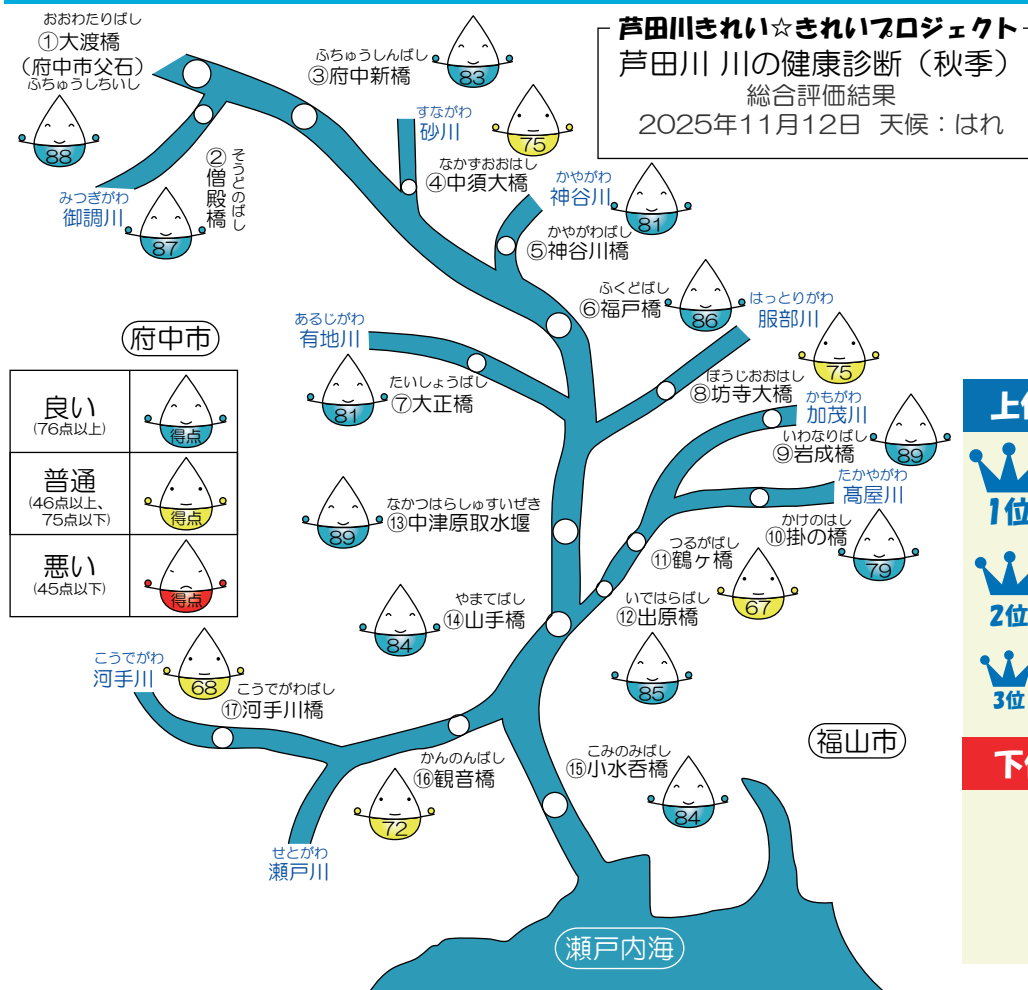
春季調査の結果まとめ

春季調査では、芦田川上流の調査地点である①府中大渡橋、③府中新橋、支川砂川の④中須大橋、中流の⑬中津原取水堰、支川加茂川の⑨岩成橋などで比較的评价が高く、支川高屋川の⑩掛の橋、⑫出原橋、中流の⑭山手橋、支川河手川の⑪河手川橋などで評価が低い結果となりました。

今年は梅雨入りが遅いものの、調査日5日前ほどに比較的多量の雨が降りました。降雨により水量が増加したため、昨年度と比較し中下流の総合評価が比較的良好になったと考えられます。

支川の高屋川については低評価でしたが、支川合流後の本川の小水呑橋については高評価となりました。全体的には、極端な水質悪化も見られないことから、芦田川の水質改善に向けた様々な取り組みにより、水質の改善傾向は維持されていると推測されます。

2025年度 芦田川「川の健康診断 秋季調査」総合評価結果



上位ランキング

- 1位 ⑨岩成橋(加茂川):89点
- 1位 ⑬中津原取水堰(芦田川):89点
- 2位 ①府中大渡橋(芦田川):88点
- 3位 ②僧殿橋(御調川):87点

下位ランキング

- 1位 ⑯観音橋(瀬戸川):58点
- 2位 ⑧坊寺大橋(服部川):64点
- 3位 ⑫出原橋(高屋川):65点

秋季調査の結果まとめ

秋季調査では、芦田川上流の調査地点である①府中大渡橋、中流の⑬中津原取水堰、支川御調川の②僧殿橋、支川加茂川の⑨岩成橋などで比較的评价が高く、支川服部川の⑧坊寺大橋、支川高屋川の⑫出原橋、支川瀬戸川の⑯観音橋などで評価が低い結果となりました。

府中大渡橋等の芦田川上流及び御調川、御調川等の支川の評価が非常に良好でした。高屋川・瀬戸川は昨年度とほぼ同程度の「普通(46点以上)」評価であり、これら支川の合流以降は、本川の水質も落ちていることが分かります。総合的に勘案すると、本川及び支川の水質は良好であるといえます。

本年度調査全体の結果まとめ

本年度調査では、梅雨入りが遅かった影響もあり、春調査が低評価に、安定した気候が続いた秋調査では高評価という結果となりました。特に水量が保たれていた府中大渡橋や僧殿橋で、春・秋ともに高い評価となりました。

一方、下流部で芦田川に合流する高屋川・瀬戸川の調査地点では、春が低い評価となりました。

調査地点全体の傾向としては、上流の地点で比較的水質が良好であり、市街地を流れる支川(高屋川・瀬戸川等)の下流部や支川合流後で水質が悪くなる傾向であり、生活排水等の影響が大きいものと考えられます。

流域住民の皆さまに水環境改善へ関心を持っていただくため、「芦田川 きれい☆きれいプロジェクト」の一環として、流域の子どもたちを対象に、芦田川をフィールドとした体験学習会「芦田川 水辺の学び舎」を9月28日(日)に開催いたしました。

参加状況は、一般参加者、AEMCスタッフなどを含め、総勢74名の参加となりました。

芦田川 府中大渡橋付近

出口川合流部付近



【アカザ】 府 貴重種



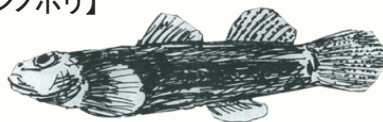
見つけたよ！
こんなさかな

【カマツカ】 府



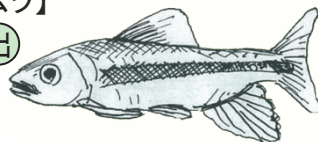
【カワヨシノボリ】

府 出



【カワムツ】

府 出



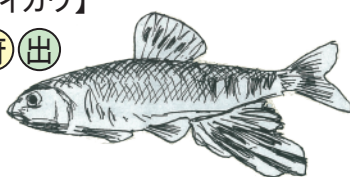
【ドンコ】

府 出



【オイカフ】

府 出



【オオシマドジョウ】 府 出



府 府中大渡橋で見つかった魚 出 出口川で見つかった魚

そのほかに見つけた生物(府中大渡橋付近)

- ・ヒラタカゲロウ ・ナガレトビケラ
- ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ
- ・ヒラタドROMシ ・コオニヤンマ ・カワニナ
- ・ハグロトンボ ・ミズカマキリ ・スジエビ
- ・シジミ属 ・カゲロウ目 ・モエビ ・ヌマエビ科
- ・トンボ目 ・ヒゲナガカワトビケラ ・アメンボ
- ・サナエトンボ科 ・カワトンボ科 ・コシボソヤンマ

そのほかに見つけた生物(出口川合流部付近)

- ・ヒラタカゲロウ ・オオシマトビケラ ・ヒラタドROMシ
- ・コオニヤンマ ・カワニナ ・ハグロトンボ ・アメリカザリガニ
- ・シジミ属 ・スジエビ ・モクズガニ ・ギンヤンマ ・アメンボ
- ・スッポン ・ウシガエル ・サナエトンボ科 ・タニシ ・ヌマエビ科
- ・カゲロウ目 ・シマトビケラ類 ・コヤマトンボ ・オナガサナエ
- ・キイロヤマトンボ



昨年度に引き続き、一般参加者を交え実施された調査日は、曇りの天候で調査に適した気温でした。府中大渡橋では貴重種のアカザや、様々な種類のいきものが確認されました。両地点とも、昨年度と同等かやや多くの種類の魚や水生昆虫などが観察され、生物の生息できる水辺や川底の環境が保たれていることが確認出来ました。一方で、ブルーギル等の外来種も確認されました。また、きれいな水を示す指標生物が多く観察されたことから、芦田川・出口川の水も良好であり、様々ないきものにとって棲みやすい環境であることが確認されました。

